廃棄時にご注意願います

●2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷凍冷蔵庫を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

修理サービスについて

(1) 保証書
●この製品には、保証書がついています。保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。なお、食品の補償など製品の修理以外の保証はいたしかねます。
保証期間は、お買上げ日より本体１年間です。ただし、冷媒循環回路(圧縮機・凝縮器・冷却器・毛細管・配管)、冷却循環用ファン及びファンモーターは5年間です。

(2) 修理を依頼されるとき
●保証期間中は、内部機構をさわらずにお買上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
●保証期間が過ぎているときは、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご相談ください。
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

(3) 補修用性能部品の保有期間
この冷凍冷蔵庫の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打切後９年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
●お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについてご不明な場合
修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ユーイングにご依頼ください。

仕　様

品番	UR-F230F	
定格内容積	全定格内容積　228Ｌ	
	冷凍室定格内容積　63Ｌ	
	冷蔵室定格内容積　165Ｌ	
外形寸法	幅549×奥行き595×高さ1600（mm）※ドアハンドルは含まず	
定格電圧	100Ｖ	
定格周波数	50/60Hz	
電動機の定格消費電力	50Hz　62W	60Hz　64W
電熱装置の定格消費電力	150W	
消費電力量	50Hz　380kWh/年	60Hz　380kWh/年
質量	55kg	
冷凍室の性能を表す記号	☆☆☆　フォースター	
冷凍負荷温度(食品温度)	-18℃以下	
冷凍食品の保存期間の目安	約３ヶ月	

●冷凍室の性能は、「JIS C9607」に基づいて表示しております。
●消費電力量は、「JIS C9801-2006年」に基づいて表示しております。実際にお使いになるときの消費電力量は、周囲温度や湿度、ドアの開閉頻度、新しく入れた食品の温度や量などによって変化しますので目安としてください。
●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

株式会社ユーイング

【お客様相談室】 TEL 0120-911-597 (無料) 〒639-1124　奈良県大和郡山市馬司町800番地
受付け時間 ： 月曜日から金曜日（祝日・当社休日は除く）午前9時～午後5時

1312-2

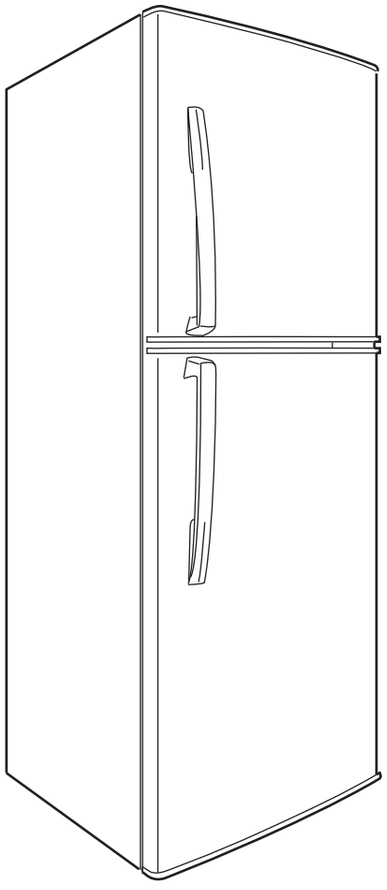
U·ING

冷凍冷蔵庫　取扱説明書

品番　UR-F230F

保証書別添

このたびは、冷凍冷蔵庫をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
ご使用前に、「安全上のご注意」(P1～P3) を必ずお読みください。
お読みになった後は、大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。



愛情点検　長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を!!

ご使用の際このような症状はありませんか？

・差込みプラグ、電源コード、本体などが異常に熱い。
・差込みプラグに深い傷や変形がある。
・こげ臭いにおいがする。
・冷凍冷蔵庫床面にいつも水が溜まっている。
・製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
・その他の異常、故障がある。

ご使用中止
故障や事故の防止のため、運転を停止し、コンセントから差込みプラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
なお、点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

もくじ

●安全上のご注意・・・・・1～3
●据え付けるときには・・・・・4
●各部の名称・・・・・・・・・5
●上手な食品の入れ方・・・・・5
●使い方・・・・・・・・・・6～7
●知っておいていただきたいこと・・・7
●お手入れについて・・・・・・・7～9
●修理サービスを依頼する前に・9～11
●修理サービスについて・・・・・・11
●仕様・・・・・・・・・・・・・・11

安全上のご注意

※ご使用の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この家庭用冷凍冷蔵庫は、冷蔵室に食品、冷凍室に冷凍食品を貯蔵するためや製氷するために使用するものですので、これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故その他の不具合、物品については、責任を負いかねますのでご了承ください。
また、冷凍冷蔵庫を過信しないでください。冷蔵室はもちろん冷凍室に貯蔵しても時間の経過にともない食品の品質が低下しますので、早目に使い切るようにしてください。

お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ず守っていただくことを説明しています。

■誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠ 警告	取り扱いを誤ると死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容を示します。

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。(下記は絵記号の一例です。)

⃠	この記号は、してはいけない『禁止』内容です。
❗	この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警 告

改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理しない。

分解禁止

●火災、感電、けがの原因。
●修理は、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室にご相談ください。

交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う。

●他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火する原因。

電源コードや差込みプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。

●感電・ショート・発火の原因。

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物をのせたり、挟み込んだり、加工したりしない。

●電源コードが破損し、火災・感電の原因。

差込みプラグを冷凍冷蔵庫で押し付けない。

●傷つき、過熱・火災の原因。

定期的に差込みプラグに付いたホコリを、乾いた布で拭き取る。

●火災の原因。

電源コードを下向きにし、差込みプラグを根元まで確実に差し込む。

●感電や発火の原因。

差込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差込みプラグを持って引き抜く。

●感電やショートして発火する原因。

長期間ご使用にならないときは、必ず差込みプラグをコンセントから抜く。

プラグを抜く

●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。

お手入れの際は必ず差込みプラグをコンセントから抜く。また、ぬれた手で抜き差ししない。

プラグを抜く

●感電やケガの原因。

庫内灯を交換するときは、必ず差込みプラグを抜いてから行う。

プラグを抜く

●抜かずに作業すると感電する原因。

庫内灯は指定のものを使う。

●故障の原因。

製品の異常や故障のときは、差込みプラグを抜き使用を中止する。

・電源コード、差込みプラグが異常に熱い。
・電源コードに深いキズや変形がある。
・焦げ臭いにおいがする。
・ピリピリと電気を感じる。

すぐに販売店へ点検・修理を依頼してください。

●感電・火災・故障の原因。

冷却回路(配管)を傷付けない。

●可燃性冷媒を使用しているので、冷媒が漏れると発火、爆発の原因。冷却回路(配管)を傷付けたときは、火気を避け窓を開けて換気し、販売店にご相談ください。

都市ガスなどのガスが漏れたら、冷凍冷蔵庫やコンセントには手を触れず、窓を開けて換気する。

●引火爆発し、火災ややけどの原因。

水平で丈夫な場所に据え付ける。

●不安定な場所は、ドアの開閉などで冷凍冷蔵庫が倒れる原因。

ドアにぶらさがったり、乗ったり重みをかけない。

●冷凍冷蔵庫が倒れたり、手をはさんだりしてケガの原因。

冷凍冷蔵庫の周囲は、すき間をあけて据え付ける。

●冷媒が漏れると滞留し、発火、爆発の原因。

上に重量物や不安定な物を置かない。

●ドアの開閉で落下し、ケガの原因。

地震にそなえて転倒防止処置をする。

●冷凍冷蔵庫が転倒し、ケガの原因。

湿気の多い場所、水気のある場所で使うときは、アース(接地)・漏電遮断器を取り付ける。

●故障や漏電のときに感電する原因。
●アース・漏電遮断器の取り付けは販売店にご相談ください。

本体や庫内に水をかけない。

●電気絶縁が低下し、感電・火災の原因。

上に水を入れた容器を置かない。

●こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり漏電し、火災や感電の原因。

水がかかる所に据え付けない。

●絶縁が悪くなり、漏電の原因。

医薬品や学術試料を入れない。

●家庭用冷凍冷蔵庫では、温度管理の厳しいものは保存できません。

脱臭器などの電気製品を入れない。

●感電や引火、爆発の原因。

引火しやすいものは入れない。

・接着剤、エーテル、ベンジン、ＬＰガス、工業用アルコール、ライターのボンベなどの揮発性、引火性のあるものは貯蔵しない。

●引火、爆発する危険。

可燃性スプレーを近くで使わない。

●引火、爆発する危険。

冷凍冷蔵庫をリサイクルされる場合は、必ずドアパッキンをはずす。

●幼児が閉じ込められると危険。

廃棄するときは、販売店や市町村に引き渡す。

●放置すると冷媒漏れによる発火・爆発の原因。

⚠ 注 意

冷凍室内の食品や容器（特に金属製のもの）や氷を、ぬれた手で触れない。

接触禁止 ●触れると離れなくなり、凍傷になる原因。

冷凍室にビン類を入れない。

●中身が凍って割れ、ケガの原因。

食品は棚より前に出さない。また、ポケットの底まで入らない食品は入れない。

●ビン類などが引っ掛かって落下し、ケガの原因。

異臭がしたり、変質した食品は食べない。

●腐敗により、病気の原因。

他の人がさわっているときは、開け閉めしない。

●ケガの原因。

ドアを強く開閉しない。

●食品の落下でケガの原因。

ドアハンドル以外を握ってドアを開け閉めしない。

●ドアで指をはさみ、ケガの原因。

移動・運搬するときは、必ず２人で前面下部と背面上部を持つ。

●他の場所を持つと、手が滑ってケガの原因。
●底面を持つと、鉄板などでケガの原因。
●無理な移動は、床を傷つける原因。

※移動の前に食品を取り出し、差込みプラグを抜いてから蒸発皿の水や製氷皿の氷や水を捨てる。

※横積みをしない。故障の原因。

冷凍冷蔵庫本体底面に手を入れない。

接触禁止 ●清掃するとき、底面に手を入れると鉄板により手を切る原因。

後ろ側下部の機械部分(圧縮機など)に、手を触れない。

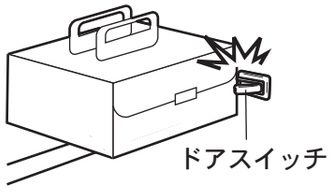
接触禁止 ●運転中・運転停止直後は高温のため、やけどの原因。

お手入れのとき、金属たわし、みがき粉、ベンジン、シンナーなどは使わない。

●変形や故障の原因。火災ややけどの原因。

おことわり

●使い始めはドアを開けた時、構造材などの臭いがすることがありますが、ご使用するにしたがい消えますので、そのままお使いください。
●使いはじめや起動時は圧縮機の音が若干大きくなります。
●食品や棚をドアスイッチに当てないでください。
ドアスイッチが破損するおそれがあります。



据え付けるときには

据え付け場所について

床が丈夫で水平なところ

●不安定な据え付けは、振動や騒音の原因になりますので、床が丈夫で水平なところに据え付けてください。
●熱による変色防止のため、じゅうたん、たたみ、塩化ビニル製の床材には、下に丈夫な板を敷いてください。

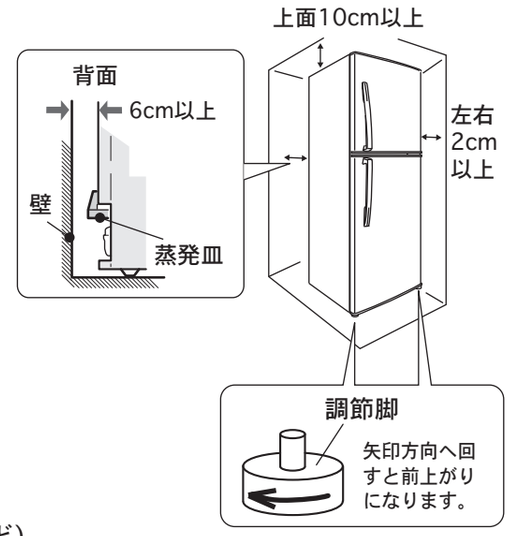
風通しのよいところ

●右図のように冷凍冷蔵庫の周囲にすき間をあけて、放熱をよくしてください。放熱がわるいと冷却力が弱まり、電気代のムダになります。

※空気の対流により、周囲の壁にホコリがたまりやすくなったり、黒い汚れが付きやすくなることがあります。

熱気・湿気の少ないところ

●直射日光があたるところ、発熱器具(コンロ、ストーブなど)近くは冷却力が低下します。



ご注意 サビやすい場所に設置する場合は・・・
腐食性ガスが発生しやすい温泉地や工業地帯、塩分の多い海岸地帯などでは、配管パイプが腐食し、冷えなくなることがあります。

アース・漏電遮断器について

⚠ 警告 水気や湿気のある場所へ据え付ける場合、アース・漏電遮断器を取り付けてください。故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。

※次のような場所に据え付ける場合は、お買い上げの販売店に依頼し、必ずアース工事・漏電遮断器の設置をしてください。工事の費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

●土間や洗い場など、水のかかりやすいところ
●コンクリートの床や地下室など、漏水や露のつくおそれのあるところ
●その他、湿気や水気のあるところ

■アース線の接続について(別売・付属はしていません)

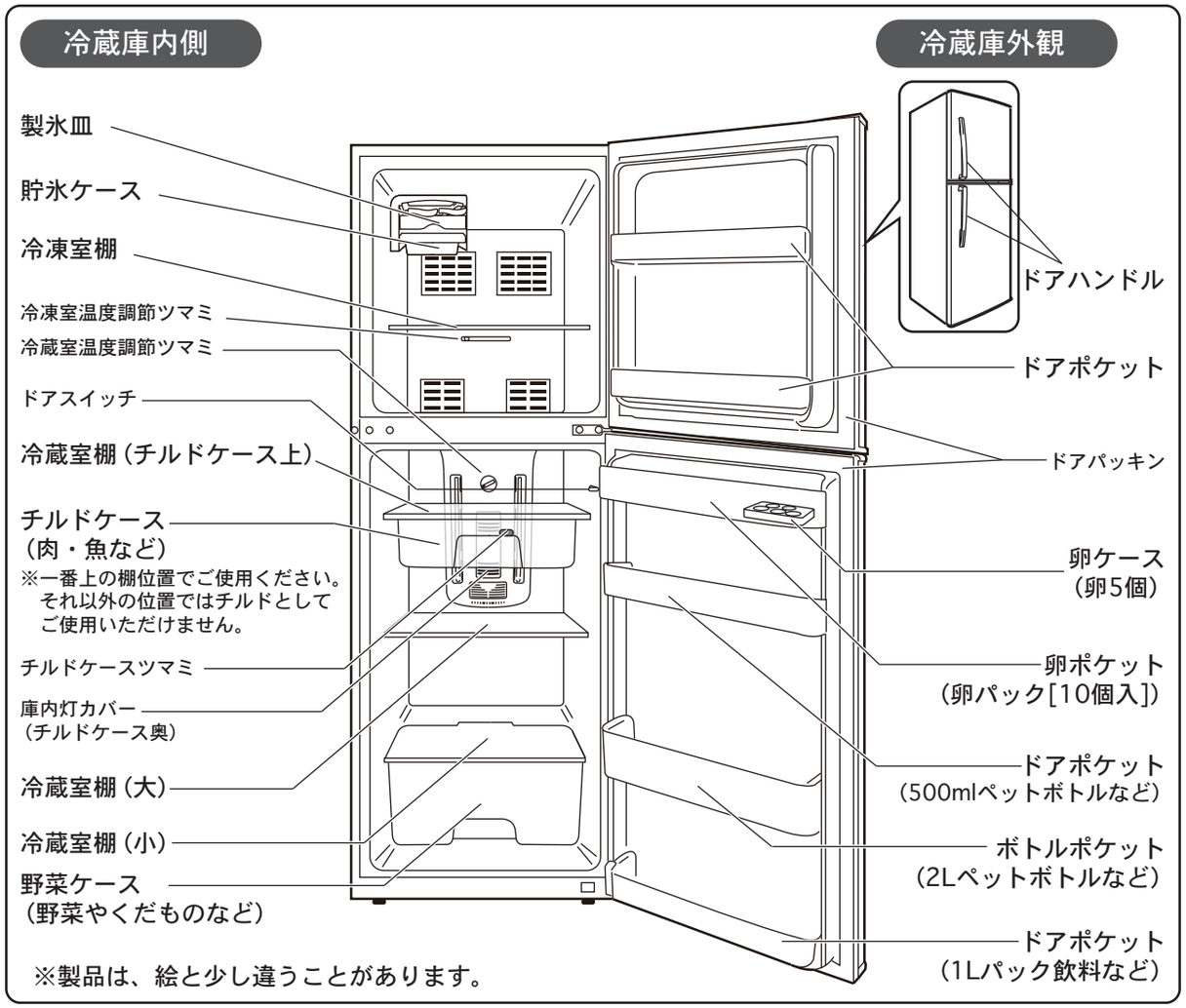
●アース線はうしろ側下部にある「アース用ネジ」と、コンセントのアース端子へ接続してください。
●コンセントにアース端子がない場合
お買い上げの販売店または電気工事店へ、アース工事(D種設置工事：有料)をご依頼ください。

※次のところには、接続しないでください。

●水道管（配管にプラスチックが使われておりアースになりません。）
●ガス管（爆発や引火の危険があります。）
●電話線のアースや避雷針（落雷のとき危険です。）

※製品は絵と少し違うことがあります。

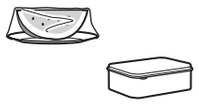
各部の名称



※製品は、絵と少し違うことがあります。

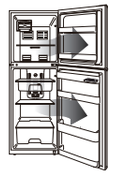
上手な食品の入れ方

ポリ袋やラップに包むか、密閉容器に入れてください。



●におい移りや乾燥を防ぎます。

ドアの開閉は、手際よくしてください。



●ドアを長い間開けたままにすると、冷気が逃げてしまいます。

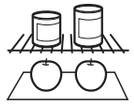
冷蔵室で保存するのに向かない物。

●バナナなどのトロピカルフルーツは食べる直前に冷やしてください。長く冷やすと変質します。
また、大根、イモなどは、変質することもあります。

熱い物は冷ましてから入れてください。

●他の食品に悪い影響を与え、電気代のムダになります。

すき間をあけてください。



●つめすぎると、冷気の循環が悪くなり、冷え方が弱くなります。

チルドケース・冷凍室で保存するのに向かない物。

●生卵・ゆで卵
（生卵は殻が割れ、ゆで卵は白身が固くなります。）
●乳製品(脂肪と水分が分離します。)
●生の野菜
（ごぼう・ふきなど水分の多いものは風味がなくなり、じゃがいも・さつまいもなどは黒く変色し腐敗します。）
●水分の多い食品（とうふ、こんにゃく）

使い方

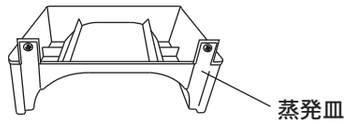
使いはじめの順序

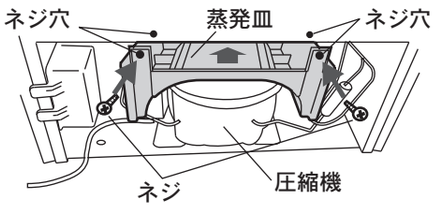
1.蒸発皿を必ず冷蔵庫背面に取り付けてください。

※工場出荷時は、冷蔵庫背面に蒸発皿は取り付けられています。

取り付けかた

蒸発皿を図の位置に水平に差し込み、蒸発皿と冷蔵庫のネジ穴を合わせてネジを締めてください。





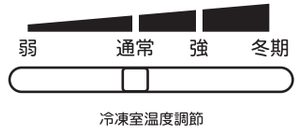
2.本体を水平に置いて固定してください。このとき電源コードをはさみこまないようにしてください。
3.本体底面の調節脚を回し、高さが水平になるように調整してください。
4.柔らかい布に水を含ませ、絞った後に庫内をきれいに拭いてください。
5.差込みプラグを専用のコンセント（100Ｖ）に差込んでください。
6.約4時間運転し（夏場は約10時間）、庫内が冷えたことを確認してから食品を入れてください。（庫内が冷えるまではなるべくドアを開けないでください。）

お願い 差込みプラグを抜いたときは、すぐ差し込まずに６分待ってから差し込んでください。

温度調節について

●通常は冷蔵室・冷凍室ともに温度調節ツマミを『通常』の位置でお使いください。

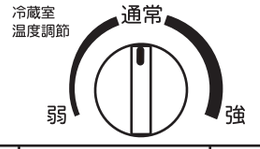
冷凍室温度調節ツマミ



弱	通常	強
『通常』より3℃前後高い	約-18℃	『通常』より3℃前後低い

●冬場など周囲温度が低いとき(約10℃以下)は、『冬期』にしてください。
※冬場に『通常』のまま使うと冷凍室が冷えません。

冷蔵室温度調節ツマミ



弱	通常	強
『通常』より3℃前後高い	約3～5℃	『通常』より3℃前後低い

●特に冷え具合を変えたいときのみ調節してください。冷蔵室の温度調節を変えると、チルドケースや野菜ケースの温度も変わります。

●この冷蔵庫は冷蔵室温度に合わせ、冷却運転をします。冬場は冷蔵室温度があまり上昇しないので、冷却運転時間が減り、冷凍室温度が上昇する傾向にあります。『冬期』にすると、冷凍室へ送る冷気の割合が増えます。
●周囲温度が約 5℃以下になると、冷凍室温度調節ツマミを『冬期』に切り換えても、冷凍室は十分に冷えません。(冷凍食品、アイスクリームなどがとけることがあります。)

冷蔵室の食品凍結について

●冬場など周囲温度が低いとき(約5℃以下)で食品が凍る場合は『弱』にしてください。
●温度調節ツマミが『強』になっている状態で凍る場合は『中』にしてください。
●水分の多い食品は、棚の手前の方に置いてください。
※チルドケースや野菜ケースをはずした場合も食品が凍結することがありますので、必ず取り付けてください。

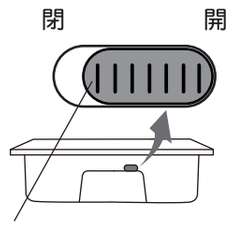
自動霜取について

●自動で霜取りしますので、食品を取り出す必要はありません。
●霜取り水は蒸発皿にたまり、外気などの熱で蒸発します。

チルドケースの使い方

チルドケースの温度は約0℃で、お刺身・スライス肉などの鮮度が高い食品や、納豆・みそなどの発酵食品、かまぼこ・油揚げなどの保管にご利用いただけます。

※チルドケースは必ず冷蔵室の最上段の棚位置でご使用ください。それ以外の棚位置では、上記の温度になりません。



※上記温度は、冷蔵室及び冷凍室の温度調節ツマミを「通常」にし、食品を入れないで温度が安定した状態のときの目安となります。

●チルドケース内に「生もの」などのにおいがこもった場合は、チルドケースツマミを「開」にすることで、においを緩和することが出来ます。

※においが強すぎる場合は、緩和するまでに時間がかかることがあります。

氷の作り方

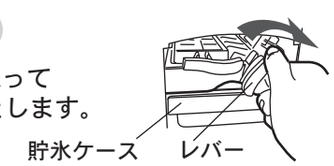
氷を作るとき

製氷皿の水位線まで水を注ぎ、水平に運んで冷凍室の所定の位置に運んでください。

※早く氷を作りたい場合は、冷蔵室温度調節ツマミを『強』にしてください。

氷の取り出し方

製氷皿のレバーをひねって氷を貯氷ケースに落とします。



ご注意

●製氷皿に水を入れすぎないでください。水がこぼれたり、氷が落ちなくなります。

●貯氷ケースで製氷しないでください。貯氷ケースが割れることがあります。

知っておいていただきたいこと

長期間使用しないとき

■庫内を清掃した後、２～３日間ドアを開けて乾燥させてください。（カビやにおいを防ぐためです。）

停電のとき

■ドアの開閉を少なくしてください。また、新たな食品の保存を控えてください。

転居のとき

■故障の原因となりますので、横積みはしないでください。

■この冷凍冷蔵庫は５０／６０ヘルツ共用ですので、周波数の切り換えは必要ありません。

■移動の前に、背面の蒸発皿の水を捨ててください。(6ページ参照)

一度抜いた電源はすぐに差し込まない

■圧縮機に負担がかかり、故障の原因になります。すぐ差し込まずに６分待ってから差し込んでください。

冷凍冷蔵庫を廃棄するとき

■ドアが密閉できないように、ドアパッキンをはずしてください。また、幼児が遊ぶところには放置しないでください。幼児が閉じこめられると危険です。

■２００１年４月施行の家電リサイクル法ではお客様がご使用済みの冷凍冷蔵庫を廃棄する場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

お手入れについて

お手入れの方法

いつも清潔にお使いいただくために、定期的にお手入れをしてください。

⚠ 警告	必ず差込みプラグを抜いてください。感電することがあります。

●本体・庫内・ドアパッキンの汚れは、やわらかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤を布に含ませ拭きとってください。中性洗剤をつかった場合は、水を含ませた布で完全に拭きとり、さらに乾いた布で拭いてください。

・庫内：食用油などがついたままですと、プラスチックが割れることがあります。

・ドアパッキン：ジュースや食品の汁などがついたままですと、早く傷みます。ドアパッキンの当たるドアの表面も忘れずに清掃してください。

●棚や各ポケット類、各ケース類の汚れは、取りはずして水洗いをし、乾いた布で水分を拭きとってください。

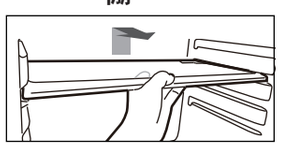
●シンナー、ベンジン、アルコール、みがき粉、アルカリ性洗剤、たわしなどは使用しないでください。(塗装面や樹脂部が変色、変質するおそれがあります。)

●化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質したり、塗装がはげたりすることがありますのでご注意ください。

部品の取りはずし方

※取り付けは、取りはずしの逆の手順で行ってください。

棚



持ち上げて引き出します。

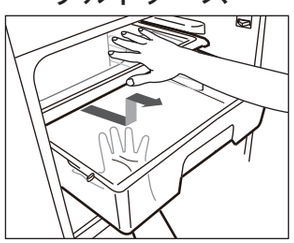
ポケット類（ドア/卵/ボトル）

垂直に持ち上げます。

野菜ケース

引き出します。

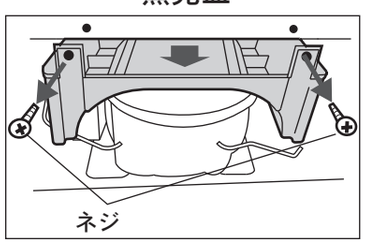
チルドケース



止まるまで引き出し、棚を押えながら下から軽く持ち上げて引き出します。

※棚を押えないと、棚ごと落下します。

蒸発皿



ネジ2本をはずしてください。

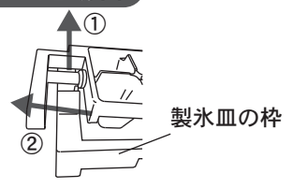
蒸発皿をはずす際は、手で水平に持ちながらはずしてください。

※蒸発皿の取り付け方は、6ページの『使い方』をご覧ください。

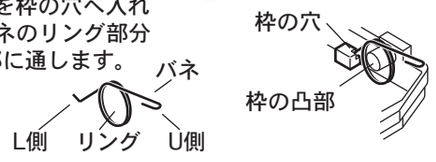
製氷皿のバネがはずれた場合

①製氷皿を固定している枠の留めから浮かせます。

②製氷皿を矢印の方向へ引き抜いてはずします。

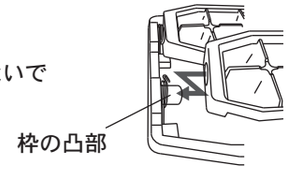


③バネのL側を枠の穴へ入れてから、バネのリング部分を枠の凸部に通します。

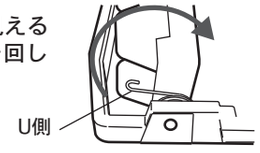


④枠の凸部へ製氷皿を軽くさし込みます。

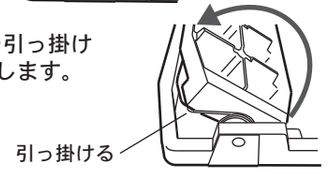
※まだ奥までさし込まないでください。



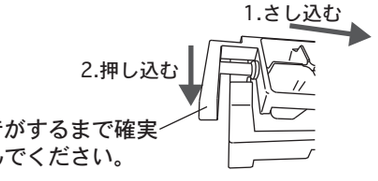
⑤バネのU側が見えるまで、製氷皿を回します。



⑥製氷皿のふちにバネを引っ掛けながら、元の位置に回します。



⑦製氷皿を奥までさし込んでから、枠にはめて戻します。



カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

お手入れ後の安全点検

●電源コードに、亀裂やすり傷がありませんか？

●差込みプラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？

●差込みプラグに異常な発熱はありませんか？

●差込みプラグの刃及び刃の取付け面にホコリが付着していませんか？

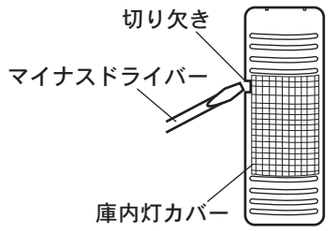
ご注意 ■圧縮機や配管に手を触れないでください。

運転中や停止直後の圧縮機や配管は、高温になっていますのでやけどやけがのおそれがあります。

庫内灯の交換方法

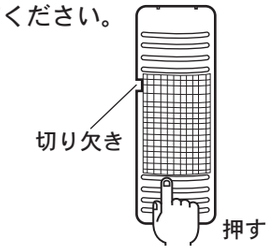
庫内灯を交換する前に、
●必ず差込みプラグを抜いてください。
●チルドケースを棚ごと取り外してください。

1.庫内灯カバーの切り欠きにマイナスドライバーをさし込み、こじるように開けてください。



2.庫内灯は右に回し確実にねじ込んでください。(庫内灯は、指定の定格のものをご使用ください。)

3.庫内灯カバーを確実に取り付けてください。
※切り欠きを左側にして取り付けてください。

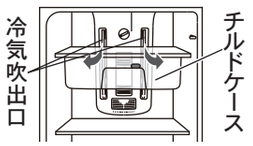


●電球は「冷蔵庫用白熱ランプ 110V　10W　T20（口金E12）」
「冷蔵庫用白熱ランプ 115V　10W　T20（口金E12）」を販売店でお求めください。

修理サービスを依頼する前に

故障ではありません

■下記の内容は故障ではありませんので、ご注意ください。

冷凍冷蔵庫の側面が熱くなる	本体の側面及び背面等が熱くなることがありますが、これは放熱パイプを内蔵し露付きを防止してるためです。使いはじめや夏場は特に熱くなり、約50～55℃になることもありますが、発火することはありません。（※庫内の食品への影響もありません。）
冷蔵室の食品が凍結する	冷気吹出口の近くやチルドケースに、水気の多い食品（豆腐、葉野菜など）やビン・缶を置いていませんか？冷気吹出し口の近くやチルドケースは、水気の多い食品が凍るおそれがあり、ビン・缶は凍って破裂するおそれがあります。 
冷凍冷蔵庫の外側に露がつく	梅雨時など湿度が高いとき、外側に露がつくことがあります。これは、冷水を入れたコップのまわりに水滴がつくのと同じです。露は、布で拭きとってください。

運転中の音について

■運転中には次のような運転音がします。
設置環境によっては、音が大きく聞こえることがありますが、異常ではございません。

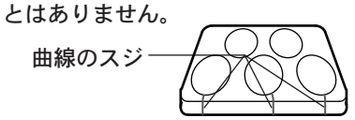
『ポコポコ･ピチピチ』など	冷却装置内を流れる冷媒(ガス)の音です。
『シャリシャリ･キーン』など	圧縮機が動作する音です。運転開始時や夏場は音が大きくなります。
『ブーン』など	冷気を循環させる為にファンが回転している音です。
『ヒューン･ウィーン』など	ファンを止めるための動作音です。
『ピシッ･パシッ』など	温度変化により、庫内が収縮、膨張をくり返すためです。

不良ではありません

※次のものは生産上の不良ではありません。ご安心してお使いください。

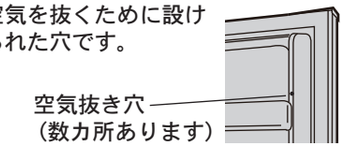
●プラスチック部品の割れや傷のようなスジ。

部品成型時に注入された樹脂材料の合流箇所や、金型の接合部です。割れに至ることはありません。



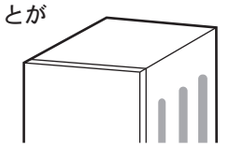
●ドア内側の小さな穴。

ドアの断熱材発泡工程において内部の空気を抜くために設けられた穴です。



●冷蔵庫側面の波打ち

放熱用パイプの模様が側面にへこみとなって出ることがあります。



故障かなと思ったら

■故障かなと思ったときは、つぎの点をお調べになり、それでも具合が悪い時はただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

こんなとき	おたしかめください
冷えがわるい 冷えない	●差込みプラグはコンセントにしっかり差し込んでいますか？ ●使いはじめは、冷えるまで約4時間～１０時間以上かかることがあります。 ●冷蔵室温度調整が『弱』側になっていませんか？ ●冬場に冷凍室温度調節ツマミが『通常』になっていませんか？(→P6) ●熱いものを入れていませんか？ ●食品をつめすぎたり、冷気の吹出し口や吸込み口がふさがっていませんか？ ●エアコンの温風や直射日光があたったり、コンロ･ストーブなど熱器具のそばではありませんか? ●冷蔵庫周囲の風通しが悪くなっていませんか? ●ドアに何かがはさまったり、ドアパッキンに汚れが付着していませんか? ●ドアの開閉が多かったり、長い時間開けていませんか? ●チルドケースが一番上の棚位置以外にとりつけられていませんか?
音がうるさい	●しっかりした床にガタつかないよう据え付けられていますか？ ●冷凍冷蔵庫が壁などにふれていませんか？ ●冷凍冷蔵庫の周囲に容器などが落ちていませんか？
庫内に露や霜が付く	●ドアパッキンに汚れが付着したり、傷んでいませんか？ ●ドアに何かがはさまっていたり、食品がドアに当たって半ドアになっていませんか? ●雨の日など湿度が高い時にドアの開閉が多かったり、長く開けていませんか? ●ラップせずに水気の多い食品を入れていませんか？
庫内がにおう	●ラップせずに臭いの強い食品を入れていませんか？ ●食品のにおいが、庫内に付着していることがあります。庫内をお手入れしてください。(→P7～8)
水が漏れる	●蒸発皿は正しく取り付けられていますか? ●ドアパッキンに汚れが付着したり、傷んでいませんか？ ●ドアに何かがはさまっていたり、食品がドアに当たって半ドアになっていませんか?

修理料金のしくみ

●修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技　術　料	故障した製品を正常に修理する為の料金です。
部　品　代	修理に使用した部品および補助材料の料金です。
出　張　料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。